

父親，母親の家庭観の調査

— 発達障害児との比較 —

横井茂夫

要約

毎日の生活の基本となる家庭について、人は誰もがかなりまとまった意見、家庭観を持っている。保育通園中の幼児のいる家庭（健常児群）の父親と母親、発達障害児のいる家庭（障害児群）の父親、母親に対してアンケート調査を行い、比較検討する。26質問中特に差を認めたのは、離婚について正当な理由があれば離婚したほうがよいが健常児の父親で少なく、心の健康について「何か心が満たされず、寂しい」と感じる事が障害児の母83%で健常児の母65%で、障害児の父53%健常児の父53%の3群に比べて有意に高い。その他の質問でも障害児の母が心身共に疲労している傾向を認める。

見出し語：家庭観、障害児、健常児

●目的

人間は、みな一組の男女から生まれ、全ての人は父—母—子を中心とする社会構成の基本単位である家族関係を持ち、家族が生活する場所の家庭を作る。毎日の生活の基本となる家庭について、人は誰もが、かなりまとまった意見を確認としてもつようになる。このような家庭についての考え方、意見を家庭観としてとらえ、父親からみた家庭観、母親からみた家庭観を調査し、さらに、発達障害児のいる家庭での父親からみた家庭観、母親からみた家庭観についても比較検討する。この調査のために26質問からなる「家庭の健康についてのアンケート」（以下アンケート）を作成し、保育園へ通園中の幼児のいる家庭（健常児群）の父親と母親、発達障害児のいる家庭（障害児群）の父親、母親にたいしてアンケート調査を行う。

●方法

アンケートは無記名で記入、回収し、次の4群に分類する。

障害児群：区立総合福祉センターの育成保育（障害児保育）通所中の子どもの父親48名（以下障父）、母親48名（以下障母）である。

健常児群：区立保育園へ通園中の子どもの父親61名（以下健父）、母親68名（以下健母）である。

障害児群の父親の平均年齢は35.7歳、母親の平均年齢は33.4歳、子どもの数は、1.87人である。健常児群の父親の平均年齢は38.6歳、母親の平均年齢は34.6歳、子どもの数は1.87人である。

父親と母親の各々に結婚観、家庭観、家庭の雰囲気、家庭と仕事の両立、疲労の有無、心身の調子などについて質問する。

健父、健母、障父、障母の4群で、特に意見に差があったものは次の質問である。

●結果

問7①「人間は、結婚してはじめて一人前となる。」と思いますか。

1. そう思う。 健父23%健母28%、障父48%障母35%。
2. そうは思わない。 健父48%健母48%、障父29%障母46%。

問7②「兄弟も大人になれば、他人に成っていく。」と思いますか。

1. そう思う。 健父23%健母18%、障父23%障母19%。
2. そうは思わない。 健父51%健母70%、障父58%障母54%。

問8②「高齢者や病人・障害者の世話は、家庭でなくてもできる。」と思いますか。

1. できると思う。 健父66%健母66%、障父54%障母73%。
2. できないと思う。 健父18%健母24%、障父35%障母19%。

問10①あなたのお考えは、AとBのどちらに近いでしょうか。

A：家庭生活では、一人ひとりが自分の好きなことをして過ごすよりも、家族の団欒を大切にしたい。

B：家庭生活では、家族の団欒だけではなく、一人ひとりの時間を持つことを大切にしたい。

1. Aに近い考え。 健父41%健母49%、障父60%障母63%。
2. Bに近い考え。 健父46%健母44%、障父31%障母31%。

問10③あなたのお考えは、AとBのどちらに近いでしょうか。

A：いったん夫婦になった以上は、たとえどんなことがあっても、離婚すべきではない。

B：夫婦になったからといっても、正当な理由があれば、離婚したほうがよい。

1. Aに近い考え。 健父49%健母24%。 障父33%障母27%。
2. Bに近い考え。 健父31%健母63%。 障父50%障母56%。 (有意差あり)

問14あなたは、毎日の生活の中で「何か心が満たされず、淋しい」と感じることがありますか。

1. 感じることもある。 健父45%健母65%。 障父53%障母83%。 (有意差あり)
2. 感じない。 健父40%健母24%。 障父38%障母10%。

問16あなたは、毎日の生活の中で「家族と気持ちがよく通じ会っていない」と感じることがありますか。

1. 感じることもある。 健父47%健母62%。 障父55%障母65%。
2. 感じない。 健父30%健母19%。 障父32%障母19%。

問19あなたの心身の調子はいかがですか。

1. 心身ともに快調。 健父53%健母51%。 障父52%障母31%。
2. 何らかに不調な点がある。 健父35%健母45%。 障父35%障母46%。

問20あなたの配偶者の心身の調子はいかがですか。

1. 心身ともに快調。 健父53%健母40%。 障父48%障母40%。
2. 何らかに不調な点がある。 健父37%健母46%。 障父40%障母36%。

●まとめ

健常児の父親61名、母親68名、障害児の父親48名、48名にアンケート調査し、特に、4群の間で回答が異なったものを考察する。

問10③離婚について、理由があれば離婚したほうがよいが、健父で、健母、障父、障母に比べ、有意に少ない。これは健父からみた現在の家庭が満足すべきものであることを反映しているのかもしれない。

問14生活の中で「何か心が満たされず淋しい」と感じる事が、障母はどの3群に比較しても有意に高く、障害のある子どもの母親への心の相談や援助、協力が必要と思われる。同様に、問19心身の調子について心身ともに快調が障母31%で他の3群では半数が快調であるのに比べ少ない。

平成2年幼児健康度調査報告書では、父親母親共に、心身共に調が73%である。今回の調査の方が快調と答えた人が少ないが、特に障母ではさらに少ない。問8②高齢者や病人・障害者の世話について、地域か家庭かの質問にたいして、障母は家庭でなくてもできるが73%と多く、福祉の充実や地域社会での協力が、より一層進められることが望まれる。

障害児の家庭では、健常児の家庭に比べ、問10①家族の団欒を個人よりも大切に考える考え方が多い傾向がある。

父親と母親との比較では、問14何か心が満たされず淋しいと感じることがある、問16家族と気持ちを通じ合っていないと感じることがあるが、共に母親の方が多い。

今回の調査で、父親と母親の家庭観が異なることと、障害児の母親が心身ともに疲労している傾向があることが判明した。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約

毎日の生活の基本となる家庭について、人は誰もがかなりまとまった意見、家庭観を持っている。保育通園中の幼児のいる家庭(健常児群)の父親と母親、発達障害児のいる家庭(障害児群)の父親、母親に対してアンケート調査を行い、比較検討する。26 質問中特に差を認めたのは、離婚について正当な理由があれば離婚したほうがよいが健常児の父親で少なく、心の健康について「何か心が満たされず、寂しい」と感じる事が障害児の母 83%で健常児の母 65%で、障害児の父 53%健常児の父 53%の 3 群に比べて有意に高い。その他の質問でも障害児の母が心身共に疲労している傾向を認める。